

峡田っ子ライフ

～峡田小学校のキャリア教育だより～

No.1

令和8年6月10日(水)

校長 松本 典之

研究担当 榎本 日月

運動会を振り返って

峡田小学校では、「キャリア教育」に力をいれて7年目になります。この変化のはげしい時代に、「課題に対して自分で考え、人と力をあわせて活動できる力、自分のよさを知っていること」が必要だと考えているからです。今年度は、峡田小学校で取り組んでいるキャリア教育について、「峡田っ子ライフ」の手紙で紹介していきます。

今回は運動会についてです。お子さんの学年の演技や競技は楽しんでいただけましたか？ 実は運動会を盛り上げよう、自分達の手でつくりあげようと、取り組んでいたことがあるのでいくつか紹介します。

①運動会ノート

峡田小学校では4年前から、当日の出来栄だけをほめるのではなく、練習の過程で、上手になったことを認めたり、不安を受け止めたりできる、「運動会ノート」(練習振り返りカード)を書いています。担任は、子どもたちが書いた振り返りに、共感したこと、励まし、アドバイスなどの返事をほぼ毎回書きます。子どもたちが少しでも「がんばったな。」「できるようになってうれしいな。」「不安が消えてきた。」と思えたらいいな、と願って続けています。

②運動会プロジェクト

運動会プロジェクトメンバー(5、6年生)の取り組みも盛りだくさんでした。第一校舎に貼ったスローガンは全校で考え、全校児童の有志で色をぬりました。また各クラスで作ったプラカードをもって応援しました。手作りの作品が随所にあります。また、各学年の代表者が出演し、意気込み動画を作り、お昼の時間に観ました。開会式では、6年生が台本を考えた劇でスローガンを発表し、各学年の代表者が見どころも発表するという、全校を巻き込んだ劇でした。

③係活動

運動会を支える高学年。高学年は、自分達の競技だけでなく、運動会を支えるための係活動も行っています。運動会をよりスムーズに運営するためにいきいきと働くこどもたちで、高学年がいなければ峡田小学校の運動会は成り立ちません。

応援する姿、上級生に憧れているまなざしにも注目です。峡田小は応援団を中心に一生懸命応援します。勝っても負けても一生懸命応援します。今年も、美しい姿でした。応援団の一生懸命な姿こそ、かっこいいと思える峡田っ子です。今年も6年生の演技に「6年生すごい。」と素直に声を発する低学年でした。

このように運動会を通して、めあてに向かって頑張る力、自分達でやってみたいことに挑戦する力、友達と力を合わせる力、みんなのために役割を果たす力が育っています。プロジェクト長は終わりの言葉に「私は全校のみんながスローガンをはたせたと思います。プロジェクト長として、臨機応変に対応することを学び、それが自分の成長です。」と語りました。これからも、子供たちが主人公になりながら、なりたい自分になれるよう見守っていきます。